

日本語パートナーズ タイ5期 ウドンターニー県

ウドンピタラヤヌクーンスクール派遣 山本芳夫
思っていたタイ人と違っていた！

タイの学校に来て9ヶ月がたちました。担当していたM6(高校3年生)達が卒業していきます。

タイの学校でも卒業の準備に入りました。何しろ1学年に千人近くがいるので、記念写真を撮るのも1日で終わらず、先生方の写真も撮ったりするので本当にお祭り騒ぎでした。

写真はM6(高校3年生)全員がスタンドで記念撮影したものです。炎天下でしたが、みんなまともりがあって楽しい写真撮影でした。



日本にいて思っていたタイ人と、実際にタイで暮らしてみte感じたタイ人の違いを私なりにレポートしてみました。

私の赴任地であるタイのウドンターニー県はタイの東北部イサーンといわれ、雰囲気は日本の東北地方みたいなところではす。

バンコクのようなごみごみした道もなく、スモッグなどありません。いつもきれいな青い空と太陽がいっぱいなところではす。

人も親切で、温かい人が多いです。

こんなことがありました。私が学校の朝の挨拶当番をしていた時、男の人が来て、「これ、忘れていったよ」と可愛い財布を私によこしました。

その人はいつも生徒が通学に使っているソンテウの運転手さんでした。

道の反対側から、わざわざ車を止めて持ってきてくれました。



生徒が通学に使っているソンテウ(乗合自動車)

区間内ならどこでも 10 バーツ(35 円)です。バイクは乗れるなら何人でも乗っています。

タイでは落とし物が戻ってくることは少ないといわれていましたが、本当のタイ人は徳を施すことを大事にしている人たちばかりで、悪い人はほんの一部なのでしょう。心の温まる朝の出来事でその日 1 日がいい日になりました。

私の周りにはタイのいい人ばかりで恵まれています。

生活の中でタイの人を見ていて面白いと思ったことがありました。

タイのお金はお札が 1,000 バーツ、500 バーツ、100 バーツ、50 バーツ、20 バーツの 5 種類と硬貨は 10 バーツ、5 バーツ、2 バーツ、1 バーツ、50 サターンの 5 種類が使われています。

買い物をしてレジでお金を払います。

金額を言われ、お札で何枚も出したときにレジの人はいつものようにお札の裏表をそろえ、さらに向きまで揃えます。そうしてからレジにしまえます。高額紙幣を出してお釣りをくれるときに、時間がかかります。お釣りを数えているのかと思ったら、そうではなくてお札の向きを直していたのです。

私はお釣りを無造作にポケットにしまいますが、それは良くないことだとタイの先生に言われました。それはなぜなのか、やっと気が付きました。

タイのお札には全部国王の顔が印刷されていたのです。

国王の写真が町じゅう、家じゅうどこに行ってもあるように例えお札といえども大事に扱っているのです。決して逆さまとか裏にしないのです。

コンビニのレジのお兄ちゃんですえ無意識でしょうか、お札を揃えていました。だから財布をお尻のポケットに入れている日本人をみると、タイ人にとって、あまり良い気はしないようです。

タイの学校に赴任して、初めての授業でまずびっくりしたことは、みんな教室内では靴を履いていないことでした。廊下で靴を脱いで靴下で授業を受けています。床はそれほどきれいではないので靴下は相当汚れると思います。

職員室に入ってくる時も靴を脱ぎます。先生は靴を脱ぎません。



これもタイの文化でした。タイの人は足、特に足の裏を人に向けたりしません。これはタイの中でも一番失礼に当たるそうです。人を跨ぐのも失礼だそうです。だから、反対に足の裏が汚れていても靴が傷んでいても気にしていません。靴を脱いで靴下に穴が空いている生徒を何人も見ました。靴が破れている生徒もいました。教室の中で床に寝ている光景を見ます。廊下でそのまま座って昼食をとっています。足元の汚れと身だしなみは違うようです。

タイでの携帯電話の普及率は相当なものらしいです。有線化できないタイの地方では、どこでも使える携帯電話は普及するのは当たり前ようです。電話機も格安で購入できるし、通信料金も日本のようにべらぼうに高くありません。そして普及させている一端が、SNSだと思います。誰もが常に携帯電話を眺めています。学校でも連絡事項はSNSです。一斉送信、グループ送信、使い方を分けてフルに使っています。

私はSNSを通じて日本文化の紹介・埼玉県の紹介をしています。日本でもフェイスブックはやっていましたが友達が限られた範囲で使っていたので、それほど情報発信はしていませんでした。

タイの学校に来て先生・生徒とSNSをやるようになり、タイ人との輪をどんどん広げ今ではフェイスブックのタイ人のお友達が600人にもなっていました。

SNSを見たのか、次の日生徒が聞いてくると、すごくいい気分になります。

あ！見ていてくれたんだ！こんな文化紹介もありでしょうね。

タイの人はお祭り好きです。日本でどんな祭りを行っているのかメジャーなお祭りはテレビなどで知っていますがローカルマイナーなB級祭りはSNSでしか見られません。それを拡散していきました。幸い私には埼玉県北の友人が多く、情報をたくさんくれました。本庄市の吉田さん、上里町の斎藤さん、神川町の清水さん、秩父市の関口さんなどいつも情報をありがとうございました。そして県の観光協会のサイト「ちょこたび」や温泉情報などもいっぱい使わせていただきました。

このタイの東北イサーン地方の人は児玉郡・秩父のお祭り、イベントをまったく知らない人のほうが多かったです。

SNSの発信は日本に帰ってからもできるので、これからもどんどんやっていくつもりです。



本庄市のどんど焼き(写真:本庄市・吉田さん)